

2023年度 一般社団法人 **示現会**
NO.6 (通算 NO43) 2023・5・10

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

○ 出品者懇親会

裏面 ○＜特集＞ 写生会報告
研究会参加の案内

コロナが5類に指定されることになりました。然し年配者にとって、決して油断できる状況ではありません。持病を持っている方は特に注意が必要だと言われています。楽しい懇親会でしたがもっともっと大勢でこの会が次年度も開催できることを願っています。

さて、巡回展が始まりました。支部の皆さんがんばってください。

第76回示現会展報告

出品者懇親会

盛大に開催されました！

多少の制約もありましたが、今回の懇親会は全員着席、バイキング形式で開催いたしました。遠方からの参加者はコロナ前に比べ若干少なく、また、一般の入選者は入選の通知を受け取ってからこの期間が短いこともあり、参加を躊躇された方も多かった様です。

成田理事長の挨拶、井上事務責任者の概要、受賞者の紹介などがあり、錦織庶務主任による乾杯の音頭で開宴いたしました。

懇親会係りの菱田さん、中西さんの司会で懇親会は和気あいあいと進み、受賞者の紹介、また遠く台湾からの出品者も大勢参加、壇上での紹介は大いに盛り上がりました。

各テーブルには役員、又支部長などが分散して着席、円卓では話が弾みました。

締めとして佐藤常務理事が登壇、来年の示現会展、また懇親会での再会を願うの言葉で閉会となりました。

懇親会係りの準備、当日の仕事お疲れさまでした。



話が弾む参加者の皆さん



締めの挨拶をする佐藤常務理事

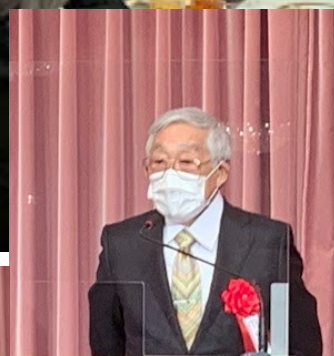


乾杯は錦織庶務主任



展示会の概要を報告

井上事務責任者



開会の挨拶・成田理事長



受賞された皆さんを紹介しました。



司会進行

懇親会係 係長 菱田委員



現寿賞の渡邊理事・野田会員

今回の懇親会には100名余が参加されました。コロナ感染が収まってきたとはいえ、年配者にとっては躊躇されるところもあったのだと思います。定員には余裕があります。来年はぜひみなさん参加ください。

大勢で楽しい会にしたいと思います。



台湾から出品者の皆さん

台湾からは28人の団体も来日、示現会展を鑑賞しました。

特集1

研究会案内!

6月リモート研究会

実施日 6月4日(日)

<写真締め切り>

5月29日(月)必着

※ 奨励展に出品作品も歓迎します

研究会の流れ(写真の送付)

1 作品の写真を撮る

※ USB メモリーに画像を入れる

2 葉書くらいの大きさで印刷

3 写真の裏側に氏名、題名

4 返却用の封筒を用意する

※ 住所、氏名をはっきりと書く

※ 84円切手を貼る。速達の場合は

260円の切手を貼り上部に速達の赤線

5 講師が指導する画像が欲しい方は

USB メモリーを入れる(メモリーにも氏名を)

聞きたいことなどがあれば短く書き、同封する

6 締め切り期日を守って投函

7 研究会当日 本部より各自に返送

※ 指導の内容を記述した用紙及び USB、

研究会参加料の案内書を同封

8 参加者は参加料を振り込み

○ USBに作品の画像を入れて送る、また、メールで画像送るのも可能です。ただし返信用封筒をお忘れなく
中西敦 chun.nonbe@gmail.com

USBに直接画像を入れて送るのも歓迎です。

参加について



示現会の研究会はどなたでも参加できます。
これから出品を考えている方も大歓迎です。

質問などは、事務局までどうぞ
事務局 ☎03-3824-9128

定休日水・木

7月の研究会

リモートと対面 実施日 7月16日(日)

<「写真」及び「対面」締め切り 7月10日(月)>必着

※「対面リモート」は写真を期日までに送ります。

当日、会場となる示現会館に来館。送られてきた写真をプロジェクターで映し、それを見ながら講師から直接指導を受けます。(作品は持参しません)

※ 参加人数の把握のため別紙「研究会開催のお知らせ」下段にある「意思表示について」の用紙に必要事項を記入し同封してください。

○ 日展に出品予定者は出来るだけ参加ください。

研究会については多くの方が参加しやすく、そして有意義な研究会になるよう、日程、方法、等を状況に合わせて実施します。計画については「事務局だより」などでもお知らせします。

特集2 ちよっと紹介

ここに山頂

いもり池から妙高山の風景、残念ながら山の上が雨のため見えませんでした。



いもり池から妙高山を望む

写生会報時

雨の中の新緑を楽しむ

5月7日、8日の2日間にわたり、示現会の写生会が実施されました。
日本各地から34名が参加、あいにくの雨になりましたが、長野と新潟の県境にある妙高山の見える「いもり池」や黒姫高原の鮮やかな新緑を楽しみながら写生しました。「コロナ禍中だけに行動に制限などありました」が、懇親会も行い、久しぶりに会う人たちの話が弾み、また作品の研究会も実施いたしました。
成田理事長から自然の中から色を見つける大切なポイントの話がありました。



2日目、朝食の後、参加者全員で記念撮影。再会を誓い解散しました。

